

「奮起」 ～気で生きる力～

H 2 9 . 9 . 2 5

1 「奮起」とは

「奮起」とは、「気力(気で生きる力)を奮い起こす」ということです。その気力とは、「何かを行おうとする力」であり「困難や危険に負けずに物事を成し遂げようとする強い振気力」です。気力がなければすべての「学び」は始まりません。具体的には、「学び」を行うときには『勇氣・元氣・根氣』の3つの気力を持つ必要があると考えました。

2 3つの気力

(1) 『勇氣』

まずは、勇氣を持って「学び」を始めたいものです。『勇氣』とは、困難や失敗を恐れなくて立ち向かっていく気力のことです。新しいことを始める前は、だれしも不安を抱えています。先の見通しがないまま手探りの状態で始まるのだが当然です。しかも、最初からうまくいくとは限りません。例えそうであってもしたことすべては1つとして無駄なことではありません。その失敗の要因を後できちんと分析できれば、必ず次に生かされてくるのです。だから、まず一步を踏み出す勇氣を持ちたいものです。この気力は、特に人間関係能力を育成していくときに必要になります。

(2) 『元氣』

そして、元氣を振るい「学び」を行いたいものです。『元氣』とは、自分を高めたり、仲間と活動するすべての源となる気力のことです。あることが失敗で終わったとき、それで気分が落ち込むのもしかたありません。でも、いつまでも自分に負けているわけにはいきません。反省(失敗したときだけでなくうまくいったときもするのですが)をしなくてははいけません。失敗したときは即座に自分の言動を顧みます。そして、その対応を考え、実行しなくてははいけません。だから、そんな時こそより一層元氣に振る舞いたいものです。この気力は、特に自己管理能力を育成していくときに必要となります。

(3) 『根氣』

さらに、根氣を保って「学び」を続けたいものです。『根氣』とは、何事も諦めずに長く続けていく気力のことです。どんなことも短時間でできるものばかりとは限りません。時には数年もかかることもあります。また、失敗への対応も1回でうまくいくとも限らず、数回かけてやっと挽回できるということもあり得ます。うまくいっているということに対しても、気のゆるみから一瞬して台無しに陥ることもあります。だから、そのことが揺るぎないものとなるまでの間は、しっかりと根氣を保ち続けなくてははいけません。この気力は、特に課題解決能力を育成するとき必要となります。

3 それぞれの花を

とりあえず、目の前にある些細なことでも全力でぶち当たる姿勢を持ちたいものです。すべての気力を持って、物事に取り組み、将来それぞれの花を咲かせていくのです。その花は、自分なりに美しいと感じればいいもので、他人の目は気にする必要はありません。

そして、教員としては、生徒が振気力を保てるよう、常に生徒に寄り添い、子ども達の話に耳を傾け共感し、協働的に物事を進めていきたいものです。

